

平成30年度

丹波篠山水稻情報

平成30年7月18日 篠山市・JA丹波ささやま・丹波農業改良普及センター

篠山市内の水稻は幼穂形成期を過ぎた頃となっています。定点調査によると草丈、茎数ともに平年並み、出穂期はやや早めとなっています。出穂期以降の高温が予想されることから、白未熟粒の発生が予想されます。外観品質向上のため、以下の点に注意して作業を行って下さい。

- (1) 出穂期から開花期までは特に水分が必要なことから湛水管理を行う。
- (2) 出穂後5日頃を目安に、追肥を行う。(施用量は窒素成分で1kg/10a＝ささやまエースで8kg/10a)
- (3) 緩効性肥料(省力型肥料)も葉色がさめている場合は、これまでの高温のため早く肥料が溶出し、登熟期に肥料切れをおこす恐れがあるため追肥をすることが望ましい。
- (4) 根を傷めないように飽水管理を収穫1週間前までつづけ、落水をできるだけ遅らせ養分の転流を促す。
- (5) なお、追肥により食味に影響する玄米タンパク質含有率は上がる傾向があります。

(参考)

近畿地方 1か月予報
(7月14日から8月13日までの天候見通し)

平成30年7月12日 大阪管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、多い確率50%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率70%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。